

豊郷町の特産「とよ坊かぼちゃん」の現地研修会を開催 ！

豊郷町では平成 12 年からミニカボチャを特産品として作付け推進されています。平成 24 年度には「とよ坊かぼちゃん」という愛称が付けられ、平成 30 年度は 18 人で約 1.7ha の規模まで拡大しています。当初はお盆のお供え用に栽培していましたが、完熟すると高糖度になることや丸ごと調理できる簡便さをセールスポイントとして生食用の定着を目指しておられます。現在当課では、高糖度のカボチャを目指した栽培指導や青果・加工品の販路拡大への支援を行っています。その中で、5 月 28 日に豊郷町の「とよ坊かぼちゃん」栽培ほ場で安定生産に向けた現地研修会を開催しました。

昨年は開花期の低温で訪花昆虫が少なく着果が遅れ、需要期に出荷できなかったため、その後の販売に苦労しました。そこで今年は着果を確実にするために実演による人工授粉の指導をしました。研修会の参加者は手元をのぞき込んで人工授粉の方法を学ばれていました。

研修会では「とよ坊かぼちゃん」の管理方法や栽培アイデアについて活発に情報交換をされ、今年の収穫に向けて技術を確認されていました。

これから来る梅雨時の管理や病虫害防除、収穫適期についても当課から情報紙を作成し、栽培指導を行っていく予定です。



人工授粉を行っているところ



つるが整理された栽培ほ場